



河野勇一 [著] 日本バプテスト教会連合・緑キリスト教会（名古屋市）宣教牧師、東海聖書神学塾教師。

人はどこから来て、 どこへ行くのか？

《神のかたち》 の人間観

2021 年 09 月 03 日刊行予定

ゴーギャンが^{ひっせい}畢生の大作に込めた究極の「問い」を
《神のかたち》のスキーマに基づいて解き明かす。

神の啓示である聖書に基づく神学的人間論こそ、世界と人に関する「なぜ？」に明解に答えてくれる——。
この信頼と確信のもとに「《神のかたち》とは何か」というライフワークに挑んだ、渾身の書。

主な目次

- 第一章 人の原型である《神のかたち》／1 聖書が語る《神のかたち》とは／2 《神のかたち》の原型は御子・キリスト
- 第二章 《神のかたち》に創造された人／1 アダムとエバとは何者か？／2 聖書が三つの概念を駆使して語る《神のかたち》の三重の意味／3 三つの概念による《神のかたち》としての人
- 第三章 罪による《神のかたち》の毀損／1 罪の始まりとしてのアダムの墮罪／2 罪の本質としての神への背信／3 毀損された《神のかたち》の悲惨
- 第四章 御子の受肉と十字架と復活／1 イエスとして受肉した御子の生涯／2 イエスの生涯と「神の国」の到来／3 イエスの十字架の死と復活の意義
- 第五章 キリストの救い：《神のかたち》の回復／1 キリストの「救い」の文脈／2 「《神のかたち》の回復」を三概念で語る聖書

第六章 《神のかたち》を生きる／1 「救い」の所与と約束、そして課題／2 救いの課題についての三概念

第七章 《神のかたち》完成への聖霊の働き／1 使徒言行録に見る聖霊の働き／2 聖霊のパースペクティヴでの救い／3 聖霊の働きの三概念での表現／4 マタイ 25 章の「主の再臨に備える生き方」

第八章 神の国と《神のかたち》の完成／1 最後の裁き／2 信仰生活の「行い」と「裁き」「報い」／3 新天新地と《神のかたち》の完成

おわりに

研究ノート1：「神の義」と「キリストの信」

研究ノート2：「聖」と「霊」と「命」

研究ノート3：「贖い」と「有め・償い」

聖句索引／あとがき

著者紹介（かわの・ゆういち）

1945 年大分県生まれ。九州大学工学部応用化学科、大阪聖書神学校、米国ミネソタ州ベテル神学校卒。

現在、日本バプテスト教会連合・緑キリスト教会（名古屋市）宣教牧師、東海聖書神学塾教師。

著書に『神の国のライフスタイル』、『きみは愛されるため生まれた』、『現代を創造的に生きるために』、『わかるとかわる！《神のかたち》の福音』。

訳書にロバート・E・コールマン『大宣教命令のライフスタイル』、リック・ウォレン『健康な教会へのかぎ』などがある。



四六判上製・400 頁・2,200 円（税込）
2,000 円＋税 ISBN978-4-909871-50-3 C0016